

## カルメルの乙女の書

1950年、初めて『完全なる結婚』が出版されたが、この時代にタブーとされた性に関する知識をおおやけにしたことで、著者のサマエルは投獄された。この投獄中に書き上げられたのが、実は『カルメルの乙女の書（カルメンの聖母）』である。

本書では聖母マリアの実像を明らかにしている。つまり、神格化される前の一人の女について霊的な目で迫っている。さらに、処女懐胎の秘密を明らかにし、夫婦であれば誰でもマリアと同様に光の子を授かることができることを示し、キリスト教徒に大きな衝撃を与えた。

出獄後に『カルメルの乙女の書』は出版されたが、再び投獄されるようなことはなかった。

## ルーンの秘儀

この著作は、ルーン文字について、サマエルが各地で行った講義をまとめ編集したものである。はるか昔、極北で住んでいた最初の人類（我々は第五の人類）の、原初のイニシエイトが使っていた言語が神聖なるルーン文字である。その一つひとつの文字に秘められたエソテリックな魔力を内なる能力の開発のために活用するのが、このルーンの秘儀である。

ルーンのエクササイズを通じて、太陽エネルギーの吸収も可能である。

## 若返りチベット秘儀

この短編は、チベットの秘教的寺院「若さの泉」で教え受け継がれてきた「若返りの秘法」について、サマエルが彼の弟子に語ったものを骨子にまとめ、編集したものである。

六つの簡単なエクササイズにより、驚くべき若さを保つことができる。今後急速に増加する高齢者に是非活用してほしいものである。

秘教的教義の深い理解と日々のプラクティスのために、本書が多くの方々の役に立つことを心より願っている。

\* \* \*

# 目次

## はじめに

## ロゴス・マントラ・テウルヒア

第1章	ロゴス	3
	インヴォケーションー聖霊／ 聖霊と第三ロゴス（ビナー）	
	第三ロゴスのエネルギーの解放／ 第二ロゴス（ホクマー）	
	金星のイニシエーションでの体験／ イエス・クリストへの変貌／ 日の老いたる者、第一ロゴス／ 聖なる四／ アイン・ソフ／ アイン・ソフの高次の存在たち／ 偉大なる存在たちの降臨／ ロゴスとクンダリニーの具現	
第2章	マントラ	12
	ユニヴァーサルな響き／ 主音／ 共鳴／ 言葉の幾何学／ マントラ／ 性腺と喉の関係／ アルカーノA. Z. F. と第三ロゴス／ クリスト化された言葉は性的である／ 言葉の変形／ 魔術的なマントラ／ 内なるマスターは「和音」である／ マントラの発音	
第3章	テウルヒア	17
	テウルヒアの司祭／ 心理的「我」はサタンである／ 魔術師は心理的「我」か、否か／ 霊：アートマン・ブッディとボディーサットバ／ 魔術師は内なるクリストである／ 魔術師のエゴの崩壊／ エウルヒア、神々の科学	
第4章	天使アロッチ	20
	アロッチの招喚／ ダグドゥーパの恐ろしい存在／ ノーシス主義に対する中傷／ クンダリニー覚醒のためのマントラ	